

平成22年度
河川、道路整備事業の概要

平成22年3月

国土交通省 東北地方整備局

酒田河川国道事務所

記者発表先：山形県政記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会、
山形建設業界専門紙

問合せ先

国土交通省 酒田河川国道事務所
〒998-0011 酒田市上安町一丁目 2-1
Tel 0234-27-3331 (代)

副所長 (河川担当)	齋藤 信哉	内線 204
副所長 (道路担当)	堀 喜代志	内線 205

1. 平成22年度事業概要

1) 概 要

酒田河川国道事務所は、大正6年最上川改修土地収用事務所として発足し、以来幾度かの組織の変遷を経て、昭和32年に酒田工事事務所、平成15年度から酒田河川国道事務所となり、庄内地域の“二つの川と三つの道”の改修、改築事業とその管理を行っています。

現在担当する区間として、河川は最上川下流及び赤川の本川2河川と京田川を含め5支川で74.7km、道路は日本海沿岸東北自動車道の26kmと国道7号・47号及び112号の3路線で延長150.2kmについて、改修・改築・交通安全等事業を推進します。

本年度の総工事関係費（受託・調査を除く）は約 210億円です。

2) 河川事業

近年の局地的な集中豪雨や地震などに起因して頻発する風水害・震災から被害を最小限とする緊急的な対策が必要とされています。このため、当事務所においても住民の円滑かつ迅速な避難を促し被害を最小限にするための支援を行うとともに、山形県と連携し流域全体の安全度の確保、向上を図っていきます。

本年度の河川事業は、自然豊かな河川環境を有する最上川と赤川の河川特性を活かし、地域と連携した事業の推進を図り、計画達成に向けて効率的・計画的に河川事業を行います。

主な河川事業として、最上川下流は、支川京田川における流下能力向上を図るため、関連する国道112号出羽大橋の4車線化工事に伴う坂野辺地区の出羽大橋架替を実施します。

赤川は、中流部における洪水流下能力の向上を図るため、湯野沢地区等の河道掘削を推進します。また、地域と連携し赤川らしい豊かな河川環境の復元・創出を図るため、赤川の自然再生事業を推進します。

赤川については「赤川水系河川整備計画」の策定に向けて、検討を進めていきます。

3) 道路事業

地域間を交流・連携し庄内地域の活性化に資する高速交通ネットワークの整備を推進するとともに、庄内地域の安全で快適な道路交通確保を目指し、交通事故対策、交通渋滞対策を行います。

新直轄事業の日本海沿岸東北自動車道では、温海～鶴岡間において長大トンネルである温海トンネル及び堅苔沢トンネルの工事、五十川橋の橋梁上部工工事、改良工事、舗装工事を継続して、事業推進を図ります。

また、酒田みなと～遊佐間においては、調査設計を推進します。

国道7号では、日本海沿岸東北自動車道と東北横断自動車道（酒田線）との連絡を強化し、渋滞の緩和、事故の減少を図るため、鶴岡バイパスの4車線化を推進します。

また、安全で安心な道路交通を確保するため、温海地区防災において、安全・安心な道路交通を確保するため法面保護などの防災対策を実施します。

国道47号では、新庄酒田間の地域高規格道路の一部である余目酒田道路について、早期の供用を目指し、用地買収、改良工事、最上川を渡る庄内中央大橋(仮称)の上部工工事を推進します。

国道112号では、山岳地帯を通過する月山防災において安全・安心な道路交通を確保するため落石防護柵、法面保護などの防災対策を実施します。

また、鶴岡市内の交通混雑緩和、環状道路の一部を形成する鶴岡北改良については、用地買収を推進するとともに改良工事を推進します。

交通安全事業は、国道7号中清水歩道整備、十五軒交差点改良事業を推進します。

2. 平成22年度 酒田河川国道事務所予算概要

(単位:百万円)

	平成22年度 当初工事関係費①	平成21年度 当初工事関係費②	対前年度 増減費	①/② 伸び率(%)
河川事業	663	642	21	103%
道路事業	20,341	18,834	1,507	108%
合計	21,004	19,476	1,528	108%

注)河川・道路関係予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

3. 河川事業

1) 河川改修事業（工事関係費 C = 512百万円）

最上川下流において、京田川の洪水流下能力の向上を図るために実施している京田川引堤事業に伴い、関連する国道112号出羽大橋の4車線化工事における京田川部の出羽大橋下部工工事及び河道掘削工事を実施します。

赤川において、中流部の洪水流下能力の向上を図るため河道掘削全体計画のうち、湯野沢地区等の河道掘削を推進します。

河川名	名称付	全体計画	事業概要
最上川下流 (京田川)	出羽大橋架替事業	橋梁架替 L=128.8m	<u>坂野辺地区の出羽大橋下部工工事等</u> を実施します。
赤川	河道掘削事業	掘削延長 L ≒ 10.5 km 掘削土量 V ≒ 2,050 千 m ³	<u>湯野沢地区等の河道掘削</u> を推進します。

2) 河川工作物関連応急対策事業（工事関係費 C = 28百万円）

最上川下流、赤川の樋門について、老朽化した施設の補強と基礎部分に空洞が確認された施設の対策を行い施設の安全性向上に努めます。

3) 総合水系環境整備事業（工事関係費 C = 122百万円）

赤川において、地域と連携し赤川らしい豊かな河川環境の復元・創出を図るため、赤川の自然再生事業を推進します。

平成22年度は、魚類等の重要な生息環境である瀬・淵の再生を図るための水制工設置を行います。

河川名	名称	全体計画	備考
赤川	赤川自然再生事業	L ≒ 13km	

4. 道路事業

1) 日本海沿岸東北自動車道 新直轄事業 (工事関係費 C = 13,785百万円)

高速交通ネットワークの整備を図り、地域間を交流・連携し庄内地域の活性化を図るため、引き続き日本海沿岸東北自動車道の整備を促進します。

路線名	事業箇所名	計画		完成・供用 目標年度	H22事業概要
		延長	車線数 (幅員)		
日本海沿岸 東北自動車道	温海～鶴岡	26km	2 (12.0)	H23	温海トンネル貫通、堅苔沢トンネル貫通。五十川橋上部工完により橋梁が全て完成。 トンネルの機械設備等に着手し、舗装工事を促進し、H23供用を目指す。
	酒田みなと ～遊佐	12km	2 (12.0)	—	全線にわたり、調査設計を実施する。

2) 改築関係事業 (工事関係費 C = 6,016百万円)

国道7号、47号、112号の3路線の直轄管理区間において、安全・安心な道路交通の確保、快適で円滑な道路交通の確保を図るため、引き続き温海地区防災、月山防災において防災対策を実施するとともに、余目酒田道路、鶴岡北改良の早期供用に向け事業促進を図ります。

路線名	事業箇所名	計画		完成・供用 目標年度	H22事業概要
		延長	車線数 (幅員)		
国道7号 (2事業)	温海地区防災	(区間長) 約20km	2 (13.5m)	—	小波渡地区の越波対策(副離岸堤)、温海地区の法面对策を実施する。
	鶴岡バイパス (4車線化)	5.9km	4 (28.0m)	H23	下清水地区の用地買収を促進し、湯尻川橋上部工、改良工事を促進する。
国道47号 (1事業)	余目酒田道路	12.7km	4 (22.0m)	—	酒田市街地部の用地買収を促進する。 庄内中央大橋上部工が架設完了。 酒田市側及び庄内町側の改良工事を促進する。

路線名	事業箇所名	計 画		完成・供用 目標年度	H 2 2 事業概要
		延 長	車線数 (幅員)		
国道 112 号 (2 事業)	月山防災	14.3km	2 (10.75m)	—	上名川地区（米の粉ドライブイン前）の落石・土砂崩落等の防災対策を促進する。
	鶴岡北改良	2.0km	4 (28.0m)	H 2 3	宝田地区の用地買収を促進し、早期供用に向け茅原・本田地区の改良工事を促進する。 また、鶴岡北橋(仮称)の下部工が完成となる。

3) 交通安全事業

交通事故の防止と交通の円滑化・快適化を図るため、交通安全事業として国道 7 号中清水歩道等整備を実施します。

京田川引堤事業

概成している最上川支川京田川の引堤事業の内、残されている山形県施工の国道 112 号出羽大橋の 4 車線化工事に伴う京田川部出羽大橋架替を実施します。



予算投入効果

- ・ 予算を投入することで京田川の治水安全度向上を図ります。

赤川河道掘削事業

赤川中流部の洪水流下能力の向上を図るため河道掘削全体計画のうち、湯野沢地区等の河道掘削を推進します。

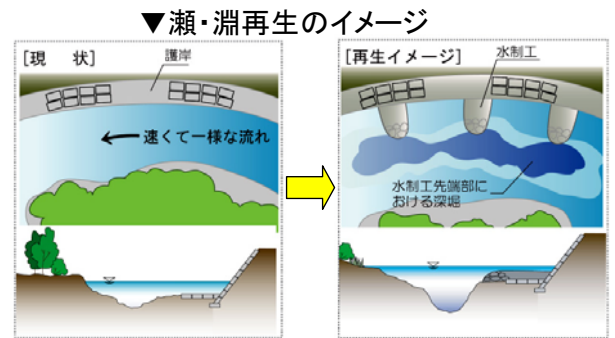


予算投入効果

- ・ 予算を投入することで、赤川の治水安全度向上を図ります。

赤川自然再生事業

赤川の鶴岡市久保地区において水制工の設置を行い、多様な流れの形成により様々な生物が生息できる環境の保全・創出（瀬・淵の再生）を進めます。



・水制工の設置により、先端部に発生する洗掘作用を活用し、淵をはじめとする多様な流れを創出する。

予算投入効果

・予算を投入することで、魚類等の重要な生息環境である瀬・淵の再生を進め、赤川らしい豊かな流れの再生に寄与します。

道路関係主要事業 広域的な交流・連携を支援し、庄内地域の活性化に資する事業

新直轄事業 日本海沿岸東北自動車道（温海～鶴岡）

温海トンネル貫通、堅苔沢トンネル貫通、五十川橋上部工が完成し、トンネルの機械設備等に着手し、改良工事及び舗装工事を促進します。



▲温海トンネル L=6,022m
(H22.3月末 掘進約5,588m)

▲整備が進む鶴岡市水沢付近

地域高規格道路 国道47号 余目酒田道路

酒田市街地部の用地買収を促進するとともに、酒田市新堀・砂越地区及び庄内町地区の改良工事、最上川を渡る庄内中央大橋(仮称)の上部工工事を促進します。



▲庄内中央大橋(仮称)の
上部工架設状況

▲整備が進む酒田市砂越付近

道路関係主要事業 庄内地域の快適で円滑な道路交通を確保するための事業

国道7号 鶴岡バイパス（4車線化）

下清水地区の用地買収を促進するとともに、湯尻川橋上部工及び改良工事を促進します。



▲4車線延伸状況
(覚岸寺交差点～本田交差点 L=700m)

国道112号 鶴岡北改良

宝田地区の用地買収を促進するとともに、本田地区、茅原地区の改良工事及び鶴岡北橋（仮称）の下部工工事を促進します。

